

役場・海部消防組合移転の進捗状況と現時点での課題は



櫻谷 千重子 議員

力、即効性のある取り組みをお願いしたい。
同じく急を要する海部消防組合の移転先、補助金、財源も含めて三町で話し合われたのかお聞きしたい。

【答】 福井町長

現役庁舎は、耐震性が不足し、水道設備や空調設備及び防水にも大きな問題がある。そこで、現海部病院移転後の施設を利用するのが最善の方法と考えている。ただ、耐震性はあると認められているが、建築設備の老朽化が懸念される。また、現在の海部病院は延床面積が役場の2倍以上あ

り、役場の使用しない部分は、県と町が共有し、施設管理をしていくべきと考えている。
海部消防組合は、現時点

では高台移転に向けた協議を開始していない。3町で具体的に話しを詰めたこともない。今後協議していきたい。

健康管理センター（鬼ヶ岩屋温泉）の今後の見通しは

【質】 櫻谷議員

何年も放置され、あちこちに修繕しなければならぬ箇所も出ている。売却の方向で進んでいるが、現段階では、買い手が現れない状況が続いている。このまま朽ち果てるまで放置しておくのか。放置したところで、年間の経費が掛かる現状を踏まえ、売却単価の見直しはもちろん、民間委託、三セク、その他あらゆることも含めて、もう一度練り直す必要があると考える。現状を打破する町長の見解をお聞きしたい。

【答】 福井町長

平成24年の営業休止後、施設譲渡の公募を二度行ったが、希望者はなかった。残る策は他の用途に転用するか、あるいは、競売にかけるかだと思うが、最善の方法を現在も模索している。

東日本大震災から5年が経つ。多くの死者、行方不明者を出し、被害者の心の傷は未だ癒されていない。この現状が私達の身に起こるかもしれない南海トラフ大地震に備え、本庁舎と海部消防組合の移転が急務と考える。



老朽化が進む役場庁舎



現在の健康管理センター